

## 平成 26 年度 グループホーム『第二大山荘・第三大山荘』事業報告書

### 1. 入居者の状況（平成 27 年 3 月 31 日現在）

#### 第二大山荘

	氏名	性別	年齢	入居年	日中活動先
1	Aさん	男	67	平成 21 年 9 月	引佐草の根作業所
2	Bさん	男	63	平成 21 年 9 月	細江あすなろ作業所
3	Cさん	男	51	平成 21 年 9 月	細江あすなろ作業所
4	Dさん	男	49	平成 21 年 9 月	大山ファーム
5	Eさん	男	40	平成 21 年 9 月	細江あすなろ作業所
6	Fさん	男	68	平成 24 年 3 月	大山ファーム

#### 第三大山荘

	氏名	性別	年齢	入居年	日中活動先
1	Gさん	女	69	平成 21 年 9 月	大山ファーム
2	Hさん	女	54	平成 21 年 9 月	大山ファーム
3	Iさん	女	49	平成 21 年 9 月	細江あすなろ作業所
4	Jさん	女	35	平成 21 年 9 月	四季の郷生活介護
5	Kさん	女	46	平成 22 年 6 月	大山ファーム
6					

※第三大山荘は 1 名募集中の状況。

### 2. 支援の状況

- ・グループホームでは、社会福祉法人昴会の基本理念に沿って「生き生きとした暮らしの実現」「地域での主体的な暮らし」を目指し支援を行いました。グループホームが他人との共同生活の場でもある以上、お互いにある程度のルールを設けることはありますが、「利用者一人ひとりの暮らし」を基本に、支援計画に沿った個別支援、本人の生活スタイルや自由、要望に応えることを大切にしました。
- ・支援体制としては、管理者、生活支援員、世話人が日常生活支援・介助に当たり、地域生活を送る上で必要な買い物などの外出支援、通院付添等の医療支援の他、相談事やメンタル面のケア、日中活動場所との連絡調整など多岐に渡りました。また、日中活動先である四季の郷の職員、大山ファーム職員、あすなろ作業所職員、草の根作業所職員、看護師、栄養士等とも連携・協力して支援を行っています。
- ・課題としては、少数職員体制で支援を行なっているグループホームでは、職員個人の経験や知識、生活観が支援内容に直結しやすい特性があるため、職員間で支援目標や方針の共有・理解を図るよう、会議の有効活用や小まめな情報交換・意見交換を心掛けました。また、共同生活の難しさとして、利用者間の人間関係や過度な干渉に伴うトラブル・苦情が時折発生し、対応に苦慮するケースもありました。
- ・家族（成年後見人等）とは、面談や必要な連絡、帰宅等の機会を通して連携を保ちました。

### 3. 余暇支援

- ・第二・第三大山荘の行事としては、個々人の余暇支援と合わせて、季節を感じることや外出を行う等、日々の生活が単調にならないよう行事計画や情報提供を心掛けた。主な行事は以下の通りである。

日帰り外出（フラワーパーク）	5月（希望者）
日帰り外出（フラワーパーク）	5月（希望者）
えんしん映画招待	8月（希望者）
花火	8月（希望者）
秋祭り	11月
誕生会	誕生者のある月（希望者）

- ・「わかふじスポーツ大会」へ3名の入居者が参加し、フライングディスク競技に出場しました。久しぶりに参加する方、初めて参加する方がいて、それぞれに頑張ってきました。

### 4. 健康支援

- ・健康支援としては、毎日の検温を実施し、日々の体調観察に努めました。定期的に精神科と呼吸器科、循環器へ通院している入居者がいたので、通院による治療及び服薬管理支援を継続。また、受診が必要な疾患を発症した入居者には、通院介助を実施・対応した。
- ・感染対策として、日常的にインフルエンザ予防に努めたり予防接種を受けていたものの、年末年始～1月下旬に掛けて2名の入居者及び3名の職員がインフルエンザを発症しました。発症後の対応として、グループホーム内での感染拡大をどのように防ぐかが、今後の課題だと考えています。

### 5. 防災の取り組み

- ・火災等災害発生防止に努めるとともに、定期的に火災、地震等の災害を想定した訓練を実施した。また、社会福祉法人 昴会合同防災訓練及び四季の郷と合同防災講習会に参加した。
- ・防災訓練実施状況

5月24日	・休日の昼間の火災を想定しての避難訓練及び消防設備の取り扱い訓練
6月11日	・法人防災訓練（各事業所合同訓練）
8月7日	・夜間を想定しての避難訓練及び召集訓練（夜間実施）
9月11日	・防災訓練（東南海地震を想定しての避難訓練）
11月14日	・社会福祉施設総合防災訓練（四季の郷と合同訓練）
2月12日	・防災講習会（四季の郷と合同講習会）

### 6. 職員研修

- ・職員会議内の時間を使い、「第三者評価」「虐待防止」「感染予防」をテーマにした研修を実施。
- ・全国グループホーム等研修会へ2名の職員が参加。
- ・浜松グループホーム連絡会に参加。（5回／年6回開催）

### 7. 第二・第三大山荘日課、職員の業務

時刻	利用者	世話人及び生活支援員
6:30	起床	起床の声かけ、着替えの介助
	着替え、洗面	健康チェック
7:00		朝食準備（世話人）
7:30		

8:30	朝食 下膳・歯磨き・トイレ 出勤準備（持ち物・身だしなみ）	朝食 片付け 持ち物・トイレの確認・整容確認
9:00	出勤	職員連絡会（通所施設への連絡） 掃除・洗濯（世話人）
9:30	通所施設での日中活動	通院付添（支援員） 一旦業務終了（世話人）
10:30		洗濯物取り入れ（支援員）
16:00	帰宅・洗濯物たたみ・収納	
17:00		
17:30	入浴 夕食準備	世話人出勤 入浴介助（世話人） 夕食準備
19:00	夕食 片付け	夕食介助・服薬介助 片付け・食堂掃除
20:00		
20:30	入浴 洗濯・洗濯干し	入浴介助・ 洗濯・洗濯干し支援
21:00	浴室掃除 余暇	浴室掃除介助
24:00	服薬	服薬介助 就寝援助
4:00	就寝準備	記録等事務処理
6:30	就寝	ケアホーム内外点検、業務終了
		宿直職員見回り 宿直職員見回り 世話人へ申し送り・宿直業務終了

\*夜間支援（宿直業務）については、グループホーム職員とバックアップ施設（四季の郷）及び細江あすなろ作業所・大山ファームの職員が連携し、常時1名が宿直する体制を取った。

\*日勤支援員は受診日程を決め、各通所事業所と連携・調整を行い、グループホーム入居者の受診援助を行った。

\*月1回、第二大山荘・第三大山荘職員会議を開催。